



平成 24 年 11 月 16 日 第 2 卷(第 32 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail: dsstsw@jaswhs.or.jp

目次

1. 現地支援活動報告
2. 現地感想文
3. 災害対策本部からのお知らせ
4. 事務所感想文



漁が再開され、船が出ています。

— 現地石巻 photo —

●●●1. 現地支援活動報告

活動期間:2012年10月28日~10月30日
永島 里穂 (神奈川県 グリーンヒルズ相模原)

今回は在宅生活をされている方で、ソーシャルワーカーの介入が必要とされたケースへ電話連絡や訪問をさせて頂きました。

話をする中でそれぞれの思いを聞かせて頂き、気持ちに沿った支援や以前とは違った必要とされる支援のあり方について、ソーシャルワーカーとして必要な視点や役割など改めて考える機会になりました。また石巻市健康・生活復興フォーラムや包括ケア会議にも参加させて頂き、住民自身の力によって生活を構築していくことが重要であり、課題であるということが共通してあったように思いました。支援を通して様々な職種と関わる貴重な時間を過ごすことができ、とても刺激になりました。

現地スタッフの方にはたくさんサポートして頂き、大変お世話になりました。ありがとうございました。



場所は牡鹿半島の大原浜。訪問途中に寄った所です。

家が2~3軒見えていますが、住まわれていません。海岸近くにあった世帯は、ほとんど津波で流されています。

— 現地石巻 photo —

活動期間:2012年10月31日~11月2日
今尾 顕太郎 (大分県 国立病院機構別府医療センター)

私自身、被災地支援は4回目となります。日本協会としての参加は昨年7月に、福祉避難所の遊学館での支援以来2度目です。

前回とは異なり、在宅生活者の支援でしたが、未だ手の届かない要支援者がここまで多数存在しているとは驚きでした。さらに、被災直後から問題の変化・変遷もうかがえ、これまでは違うソーシャルワークの必要性・重要性を強く実感しました。

問題は、時間を追うごとに多様化・深化しています。一見制度的に見れば自立生活を送れていても、実際には様々な苦しみや困難を抱えており、見過ごすことで近い将来大きな問題を抱えることになると思われる方々が居ました。

3日間しか活動できなかったことに強い不全感を感じます。もっと腰を据えて、しっかりと各ケースに介入していくことが求められているのだと痛感しました。

しかし、そのためには、現地活動員の確保が数的にも質的にも必須です。また、折を見て参加しようと考えています。

<参加を検討している方へのメッセージ>

現地では、生活者に視点を当てた本来のソーシャルワークが求められています。私たちに出来ること、しなければならないことが山積みです。もし、条件が許すなら、是非参加を。



富永さんと尾方さん（事務所協力員）が来てくださった時にファイル整理しました！

手前が去年度のファイル達です。事務所に協力員として来てくださった方には懐かしいかも！？

ファイルの列も、ずいぶん長くなりました。

●●●2. 現地感想文

●●●11/8 久保木 美由紀(現地担当)

本日は牡鹿半島へフォロー訪問。
道路が整備されておらず、がれきの山もあり。旧石巻市内では見ることが珍しい光景がまだあります。

●●●11/9 久保木 美由紀(現地担当)

昨日の『石巻かほく』に、「冬向けの物資 被災者に配布」との記事有。
もう物資支援はいらないと聞こえる中どうしてこんな記事がと思いました。
仮設住宅の自治会長に聞くと、高齢の方や独居等情報が届きにくいため、ほしい方達もいるそうです。



東松島仮設住宅の、お母さん達の手作りの品。

●●●3. 災害対策本部からのお知らせ

【1.協力員募集】

●●●現 地

現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中 3 日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

***12 月 20 日以降、まだ応募がありません。ご都合の付く方、ご協力をお待ちしております！

●●●事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが 1～2 ヶ月に 1 回でも構いません。ご協力をお願い致します。

【2.災害対策本部会議】

次回は 11 月 17 日(土)18:30～ 協会事務所にて開催します。

【3.書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』の販売を行っています。

発災から昨年 9 月 30 日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



●●●注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

●●● URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/「公益」日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



●●● URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

【6.現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

●●●①現地常駐者(短期契約職員)

- ・就業場所:宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間:9~17時
※業務の関係で残業あり。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000 円/月
- ・通勤費実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇。月単位でも応相談。

●●●②災害対策本部事務所担当(パート職員)

- ・就業場所:協会事務局内
- ・就業時間:週3日程度 10~17時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- ・休日:土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900 円~ 通勤費は実費支給
- ・経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

●●●お問い合わせ

住所: 〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル
電話: 03-5366-1057
担当: 笹岡・中川

●●●4. 事務所感想文

11月、12月と現地に行ってください協力員さんが増えて、感動です。
冷え込みも厳しくなってきますので、お身体には気をつけて、頑張ってきてもらいたい
と思います。

11/9 群馬県・国立病院機構西群馬病院 尾方 仁

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成24年11月16日 第2巻32号
作成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：㊦そう（理想）の電化に 電源群馬
（群馬県利根郡みなかみ町 奈良俣ダムにて～利根川水系榑俣川～）